



40,206

延べ参加者数



47

セッション数

テーマ：未来の都市を構想する/
テクノロジーの未来を語る/スタートアップを育む



82

参加国・地域

321

都市



156

登壇者数

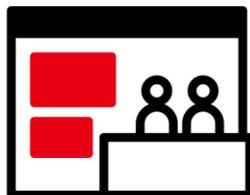
女性・海外比率40%以上



507

ピッチコンテスト応募社数

43の国・地域のスタートアップが応募



434

出展スタートアップ社数

うち海外企業が60%



3,485以上

商談件数



City Leaders Program Achievements



45

参加都市



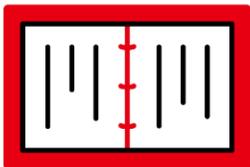
21

参加した都市の首長

アクラ、アーメダバード、バンコク、バスク州、ベルリン、ビシュケク、ポローニャ、ブリュッセル、ブエノスアイレス、ドバイ、エディンバラ、ヘルシンキ、マニラ、北マリアナ諸島、ヌアクショット、ポルト、台北、ティナドゥー、ティラナ、東京、ウランバートル

コミュニケ発信

世界の都市の連携を確認し、持続可能な社会の実現に向けて取り組むべき事項をコミュニケにまとめ世界に発信。今後、都市課題の解決にスタートアップの技術を活用するプロジェクトや都市間の技術的交流を実施し、実践的な都市間連携の取組により公正で持続可能な社会を実現していく。



セッション：安全・安心

テーマ：

強靱な都市づくり／地域とのつながり強化

東京都発表内容「TOKYO強靱化プロジェクト（風水害対策）」



セッション：環境

テーマ：

ゼロエミッション推進／循環経済の実現／緑化推進／自然環境保護

東京都発表内容「再生可能エネルギーの活用・水素の利活用」



セッション：包摂・公正

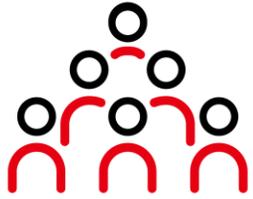
テーマ：

女性活躍の推進、文化スポーツ振興／ウェルビーイングの推進

東京都発表内容「インクルーシブシティ東京の実現・バリアフリーの取組」



Showcase Program Achievements



約610,000

延べ参加者数

日本科学未来館	約 97,000人
シンボルプロムナード公園	約472,000人
海の森エリア	約 10,000人
有明アリーナ	約33,000人



298

登壇者数

女性比率47.0%



214

協力企業社数

技術パートナー	138社
フードパートナー	61社
先行プロジェクト事業者	15社

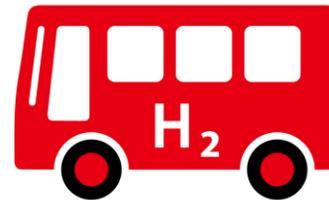


空飛ぶクルマ 都内初飛行



1,805

ボランティア活動延べ人数



水素の活用

会場間の輸送に水素バスや水素エンジン搭載船を活用。水素石窯を使ったピザ焼き体験や水素コンロを使って調理したフードの提供など、水素エネルギーの実装化に向けた多彩な技術の体験コンテンツも多数提供。